



資料4

人口推計と人口の基本方針案について

令和6年（2024年）10月11日
鎌倉市総合計画審議会





○ 人口推計

	自然増減（※1）		社会増減（※2）	
	死亡	出生	移動率（※3）	開発インパクト
社人研準拠推計	▶ 2050年までは国立社会保障・人口問題研究所（※4）が算出した仮定値（※5）を用いた。 ▶ 2050→2055年以降は社人研仮定値の2040→2045年、2045→2050年の変動分の平均値を用いた。	▶ 2050年までは国立社会保障・人口問題研究所が算出した仮定値を用いた。 ▶ 2050→2055年以降は2050年の値を用いた。 ▶ 2065年に合計特殊出生率1.65（希望出生率）を達成するように推移させた。	▶ 2050年までは国立社会保障・人口問題研究所が算出した仮定値を用いた。 ▶ 2050→2055年以降は社人研仮定値の2045→2050年の値を用いた。	▶ 深沢地域整備事業区域内 ▶ 中外製薬鎌倉研究所跡地
社人研準拠推計+開発インパクト				
希望出生率達成推計				

※1「自然増減」：死亡数と出生数の差

※2「社会増減」：住民の転入数と転出数の差

※3「移動率」：全人口に対する移動者数（転入者・転出者）の比率

※4「国立社会保障・人口問題研究所」：社会保障及び人口問題に関する調査及び研究を行うことを通じて、国民の福祉向上に貢献することを目的として設立された研究所（厚生省人口問題研究所と特殊法人社会保障研究所を平成8年に統合）

※5「仮定値」：国立社会保障・人口問題研究所が令和5年（2023年）12月に公表した「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」で用いた値。



○ 希望出生率

希望出生率とは、

▶ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率であり、2015年に政府が掲げた出生率の目標

$$\text{希望出生率} = (\text{有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定子ども数} + \text{独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \times \text{独身者の希望子ども数}) \times \text{離死別等の影響} = 1.65$$

項目	活用データ	鎌倉市の数値
有配偶者割合	総務省統計局「国勢調査（令和2年（2020年））」における鎌倉市の20歳～34歳の有配偶者の割合（女性）。	26.8%
夫婦の予定子ども数 （アンケート調査結果）	$(18\sim 49\text{歳の既婚女性の予定する子どもの数}) \div (18\sim 49\text{歳の既婚女性数})$	1.84人
独身者割合	有配偶者割合の値より計算。 $(1 - \text{有配偶者割合})$	73.2%
独身者のうち結婚を希望する者の割合 （アンケート調査結果）	$(18\text{歳}\sim 34\text{歳の結婚していない（未婚または離別・死別）の女性のうち、「いずれ結婚するつもり」と回答した人数}) \div (18\text{歳}\sim 34\text{歳の結婚していない（未婚または離別・死別）の女性数})$	83.9%
独身者の希望子ども数 （アンケート調査結果）	今回のアンケート調査の結果（18歳～34歳の結婚していない（未婚または離別・死別）の女性のうち、「いずれ結婚するつもり」と回答した者の希望する子どもの数） \div （18歳～34歳の結婚していない（未婚または離別・死別）の女性のうち、「いずれ結婚するつもり」と回答した人数）	1.98人
離死別等の影響	国立社会保障人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年（2023年）4月推計）」における出生中位の家庭に用いられた離死別等の影響。	0.966

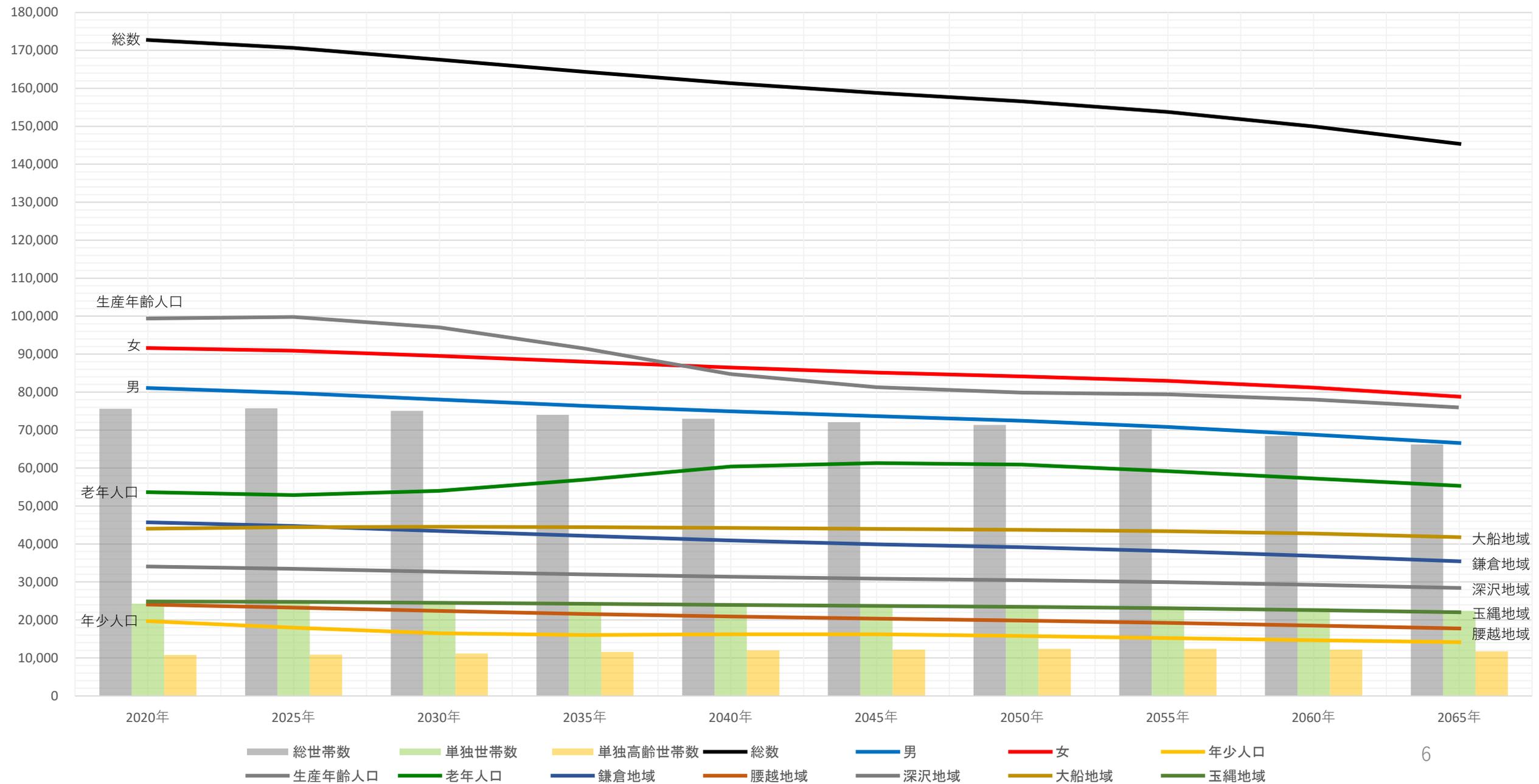


○ 希望出生率算出のアンケート調査

項目	内容
調査対象	令和6年（2024年）4月1日時点で住民基本台帳に記載されている満18歳以上49歳以下の市民（女性）の中から、無作為に抽出した2,000名
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 本調査は、紙調査票及びWebアンケートを用いて実施した。 調査票は、対象者に対して郵送配布を行った。 対象者は、紙調査票の返送（郵送回収）またはWebアンケートの利用（Web回答）のうち、どちらかを選んで回答いただいた。
有効回答数	922票／2,000票（回収率：46.1%） ※うち、郵送回収297票、Web回答625票
調査期間	令和6年6月3日（月）～ 6月24日（月）
調査項目	I. 回答者属性（年齢、婚姻状況） （婚姻状態にある方への質問） II. 理想的な子どもの人数 III. 予定している子どもの人数 IV. 理想的な子どもの人数が予定している子どもの人数よりも少ない理由 （婚姻状態にない方への質問） V. 今後の結婚に対する考え VI. 結婚後にほしい子どもの人数

○ 社人研準拠推計

折れ線は人口
集合縦棒は世帯数



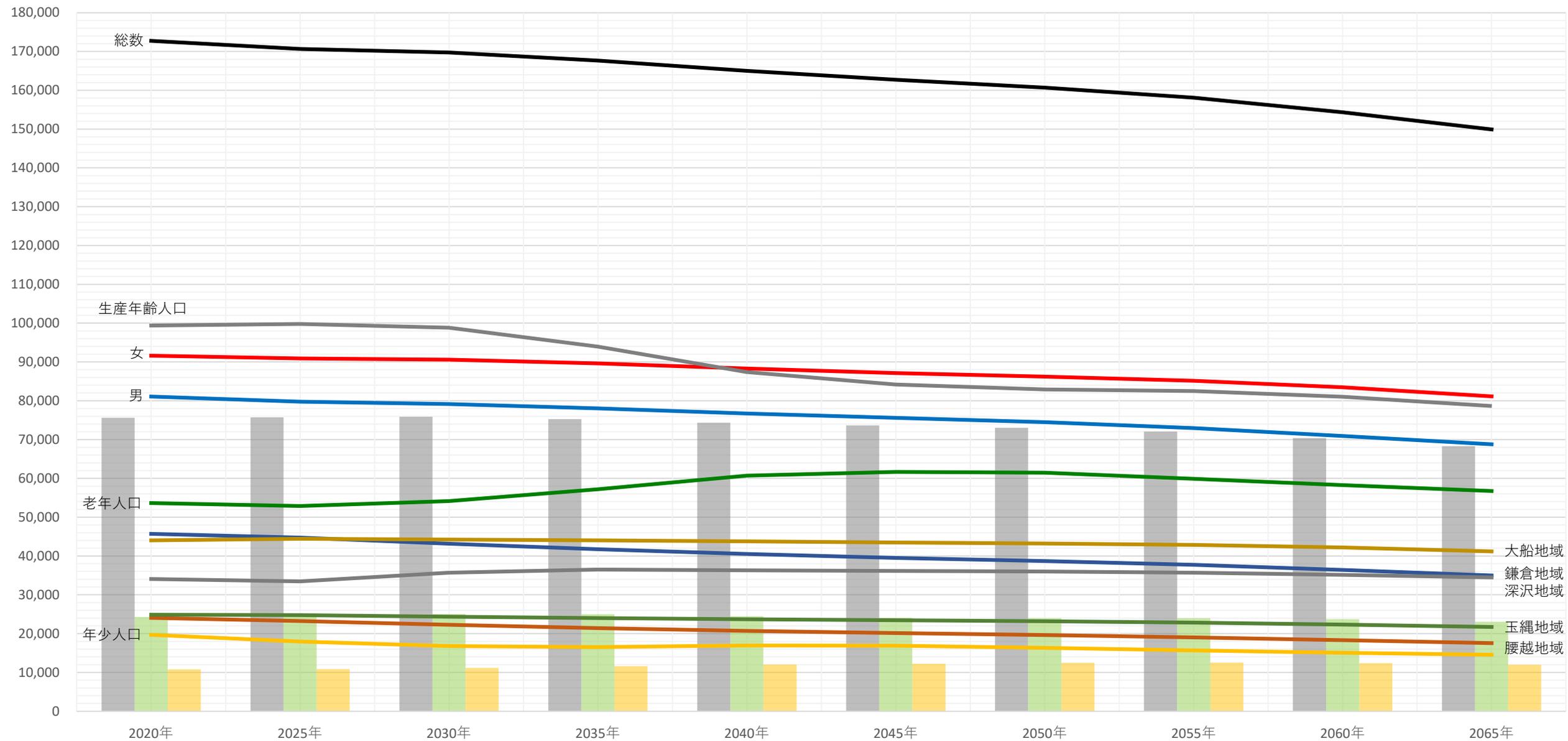


○ 社人研準拠推計

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
総数	172,710人	170,665人	167,547人	164,363人	161,362人	158,792人	156,549人	153,782人	149,952人	145,396人
男	81,097人	79,770人	78,041人	76,381人	74,910人	73,658人	72,439人	70,824人	68,767人	66,592人
女	91,613人	90,895人	89,506人	87,982人	86,452人	85,134人	84,110人	82,958人	81,185人	78,804人
年少人口	19,686人	17,976人	16,480人	16,001人	16,242人	16,201人	15,772人	15,220人	14,653人	14,120人
生産年齢人口	99,367人	99,808人	97,068人	91,438人	84,742人	81,302人	79,853人	79,386人	78,047人	75,963人
老年人口	53,657人	52,881人	53,999人	56,924人	60,378人	61,289人	60,924人	59,176人	57,252人	55,313人
鎌倉地域	45,700人	44,745人	43,434人	42,128人	40,913人	39,931人	39,124人	38,156人	36,877人	35,443人
腰越地域	24,046人	23,250人	22,370人	21,577人	20,914人	20,363人	19,833人	19,225人	18,505人	17,761人
深沢地域	34,051人	33,480人	32,716人	31,990人	31,362人	30,860人	30,449人	29,947人	29,251人	28,413人
大船地域	44,028人	44,437人	44,514人	44,435人	44,219人	43,953人	43,722人	43,380人	42,734人	41,772人
玉縄地域	24,885人	24,753人	24,513人	24,233人	23,954人	23,685人	23,421人	23,074人	22,585人	22,007人
総世帯数	75,607世帯	75,730世帯	75,055世帯	74,010世帯	72,961世帯	72,086世帯	71,365世帯	70,240世帯	68,432世帯	66,235世帯
単独世帯数	24,286世帯	24,599世帯	24,725世帯	24,521世帯	24,048世帯	23,629世帯	23,496世帯	23,427世帯	23,089世帯	22,412世帯
単独高齢世帯数	10,755世帯	10,861世帯	11,157世帯	11,558世帯	11,974世帯	12,169世帯	12,389世帯	12,410世帯	12,192世帯	11,735世帯

○ 社人研準拠推計 + 開発インパクト

折れ線は人口
集合縦棒は世帯数



■ 総世帯数 ■ 単独世帯数 ■ 単独高齢世帯数 — 総数 — 男 — 女 — 年少人口
— 生産年齢人口 — 老年人口 — 鎌倉地域 — 腰越地域 — 深沢地域 — 大船地域 — 玉縄地域

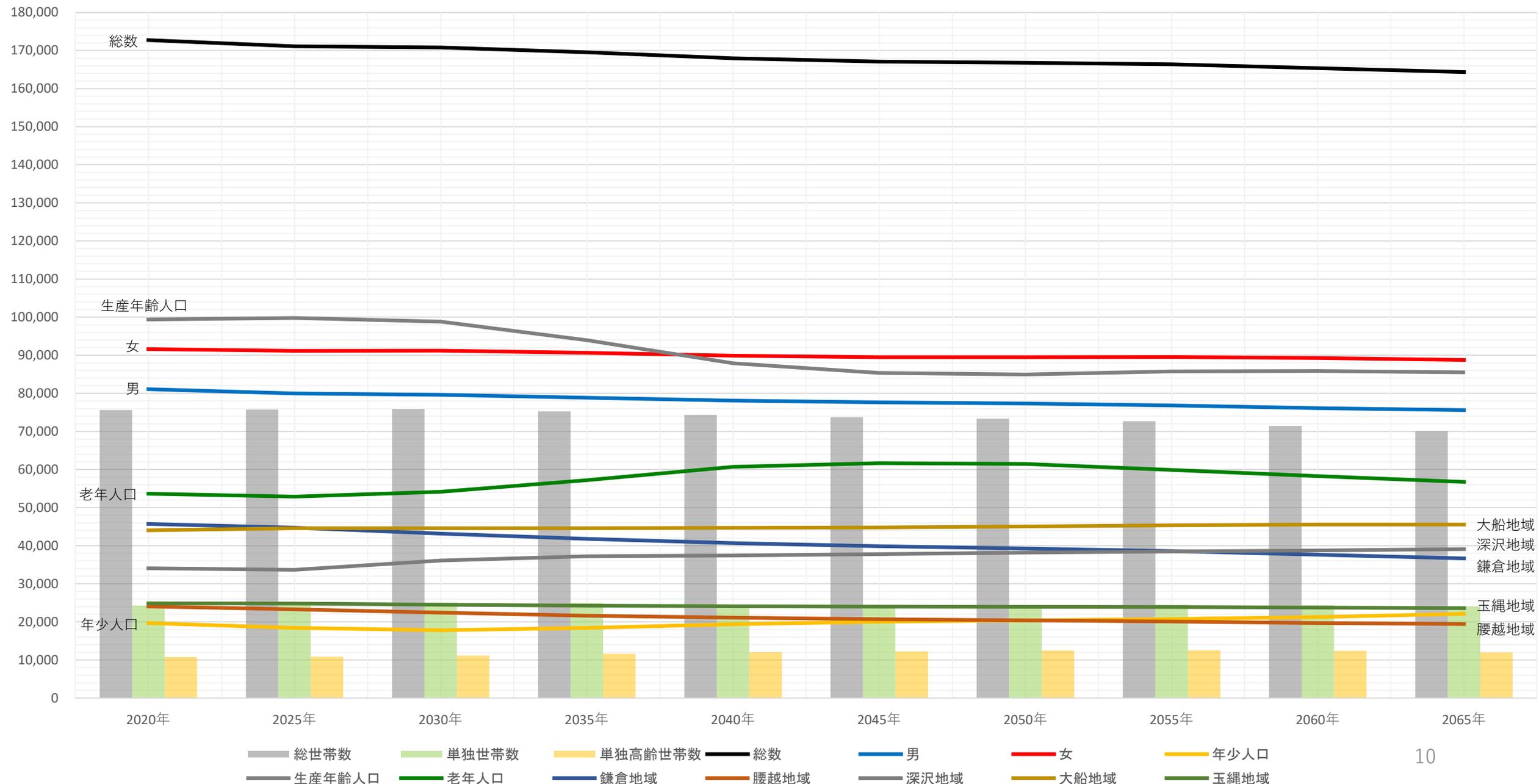


○ 社人研準拠推計＋開発インパクト

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
総数	172,710人	170,665人	169,747人	167,654人	164,996人	162,731人	160,694人	158,080人	154,353人	149,917人
男	81,097人	79,770人	79,136人	78,010人	76,711人	75,601人	74,472人	72,927人	70,897人	68,766人
女	91,613人	90,895人	90,611人	89,644人	88,285人	87,130人	86,222人	85,153人	83,456人	81,151人
年少人口	19,686人	17,976人	16,761人	16,533人	16,916人	16,864人	16,334人	15,681人	15,057人	14,528人
生産年齢人口	99,367人	99,808人	98,821人	93,937人	87,392人	84,186人	82,915人	82,510人	81,041人	78,650人
老年人口	53,657人	52,881人	54,165人	57,184人	60,688人	61,681人	61,445人	59,889人	58,255人	56,739人
鎌倉地域	45,700人	44,745人	43,177人	41,753人	40,520人	39,522人	38,696人	37,721人	36,427人	34,983人
腰越地域	24,046人	23,250人	22,276人	21,394人	20,717人	20,160人	19,624人	19,010人	18,284人	17,536人
深沢地域	34,051人	33,480人	35,702人	36,486人	36,283人	36,152人	35,996人	35,679人	35,138人	34,474人
大船地域	44,028人	44,437人	44,230人	44,009人	43,759人	43,459人	43,214人	42,860人	42,194人	41,205人
玉縄地域	24,885人	24,753人	24,362人	24,012人	23,717人	23,438人	23,164人	22,810人	22,310人	21,719人
総世帯数	75,607世帯	75,730世帯	75,865世帯	75,256世帯	74,357世帯	73,613世帯	73,026世帯	72,054世帯	70,371世帯	68,293世帯
単独世帯数	24,286世帯	24,599世帯	25,051世帯	24,972世帯	24,486世帯	24,068世帯	23,975世帯	23,977世帯	23,701世帯	23,069世帯
単独高齢世帯数	10,755世帯	10,861世帯	11,191世帯	11,610世帯	12,034世帯	12,242世帯	12,483世帯	12,538世帯	12,371世帯	11,989世帯

○ 希望出生率達成推計（2065年に合計特殊出生率1.65を達成）

折れ線は人口
集合縦棒は世帯数





○ 希望出生率達成推計（2065年に合計特殊出生率1.65を達成）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
総数	172,710人	171,081人	170,779人	169,512人	167,966人	167,102人	166,807人	166,368人	165,368人	164,357人
男	81,097人	79,949人	79,596人	78,856人	78,080人	77,631人	77,335人	76,831人	76,108人	75,617人
女	91,613人	91,132人	91,183人	90,656人	89,886人	89,471人	89,472人	89,537人	89,260人	88,740人
年少人口	19,686人	18,392人	17,793人	18,391人	19,382人	20,044人	20,397人	20,723人	21,252人	22,112人
生産年齢人口	99,367人	99,808人	98,821人	93,937人	87,896人	85,377人	84,965人	85,756人	85,861人	85,506人
老年人口	53,657人	52,881人	54,165人	57,184人	60,688人	61,681人	61,445人	59,889人	58,255人	56,739人
鎌倉地域	45,700人	44,739人	43,185人	41,804人	40,679人	39,847人	39,253人	38,566人	37,628人	36,638人
腰越地域	24,046人	23,304人	22,403人	21,623人	21,087人	20,711人	20,400人	20,072人	19,702人	19,410人
深沢地域	34,051人	33,645人	36,120人	37,237人	37,436人	37,774人	38,158人	38,494人	38,765人	39,120人
大船地域	44,028人	44,587人	44,577人	44,601人	44,671人	44,775人	45,047人	45,357人	45,532人	45,577人
玉縄地域	24,885人	24,806人	24,494人	24,247人	24,093人	23,995人	23,949人	23,879人	23,741人	23,612人
総世帯数	75,607世帯	75,730世帯	75,865世帯	75,256世帯	74,371世帯	73,723世帯	73,342世帯	72,684世帯	71,455世帯	70,008世帯
単独世帯数	24,286世帯	24,599世帯	25,051世帯	24,972世帯	24,500世帯	24,172世帯	24,238世帯	24,425世帯	24,380世帯	24,028世帯
単独高齢世帯数	10,755世帯	10,861世帯	11,191世帯	11,610世帯	12,034世帯	12,242世帯	12,483世帯	12,538世帯	12,371世帯	11,989世帯



○ 人口推移の現状

	2020			2021			2022			2023			2024							
	人口	自然増減	社会増減	人口	自然増減	社会増減	人口	自然増減	社会増減	人口	自然増減	社会増減	人口	自然増減	社会増減					
1月				172,700	0	▲ 88	88	172,698	15	▲ 113	128	172,107	▲ 153	▲ 142	▲ 11	171,272	▲ 153	▲ 115	▲ 38	
2月				172,720	20	▲ 149	169	172,616	▲ 82	▲ 151	69	171,932	▲ 175	▲ 205	30	171,081	▲ 191	▲ 166	▲ 25	
3月				172,675	▲ 45	▲ 106	61	172,566	▲ 50	▲ 124	74	171,812	▲ 120	▲ 143	23	170,918	▲ 163	▲ 151	▲ 12	
4月				172,694	19	▲ 102	121	172,669	103	▲ 137	240	171,914	102	▲ 127	229	170,919	1	▲ 128	129	
5月				172,769	75	▲ 86	161	172,659	▲ 10	▲ 116	106	171,978	64	▲ 85	149	171,002	83	▲ 108	191	
6月				172,681	▲ 88	▲ 88	0	172,663	4	▲ 117	121	171,863	▲ 115	▲ 125	10	170,867	▲ 135	▲ 107	▲ 28	
7月				172,696	15	▲ 84	99	172,623	▲ 40	▲ 82	42	171,819	▲ 44	▲ 97	53	170,721	▲ 146	▲ 110	▲ 36	
8月				172,671	▲ 25	▲ 80	55	172,526	▲ 97	▲ 95	▲ 2	171,793	▲ 26	▲ 74	48	170,665	▲ 56	▲ 103	47	
9月	172,929	166	▲ 81	247	172,707	36	▲ 85	121	172,544	18	▲ 123	141	171,673	▲ 120	▲ 107	▲ 13	170,390	▲ 275	▲ 134	▲ 141
10月	172,710	▲ 219	▲ 94	113	172,772	65	▲ 77	142	172,428	▲ 116	▲ 124	8	171,600	▲ 73	▲ 112	39				
11月	172,660	▲ 50	▲ 88	38	172,666	▲ 106	▲ 101	▲ 5	172,343	▲ 85	▲ 122	37	171,517	▲ 83	▲ 80	▲ 3				
12月	172,700	40	▲ 83	123	172,683	17	▲ 89	106	172,260	▲ 83	▲ 121	38	171,425	▲ 92	▲ 104	12				

2024年9月時点で社人研準拠推計の2025年推計値（170,665人）を既に下回っている。



○ 総人口推計の粗々試算

・ 試算方法

2020年9月人口と2024年9月の人口の減少数を5か年分に換算 = $(172,929 - 170,390) \div 4 \times 5 = \blacktriangle 3,174 = \textcircled{1}$

2020年10月人口から①分を差引 = 169,536人 (2025年仮定総人口数) = ②

2020年10月人口に対する②の割合を算出 = $169,536 / 172,710 \div 0.982 = \textcircled{3}$

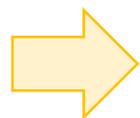
社人研準拠推計における2020→2025人口に対する比率を算出と③との差分を算出 $\div \blacktriangle 0.007 = \textcircled{4}$

社人研準拠推計における2025→2030人口に対する比率に④分を差引 $\div 0.975 = \textcircled{5}$

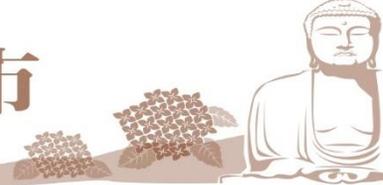
2025年仮定総人口数に⑤を乗じて2030年仮定総人口を算出 = 165,331人

以降、④・⑤の繰り返しにより、2065年までの人口を試算

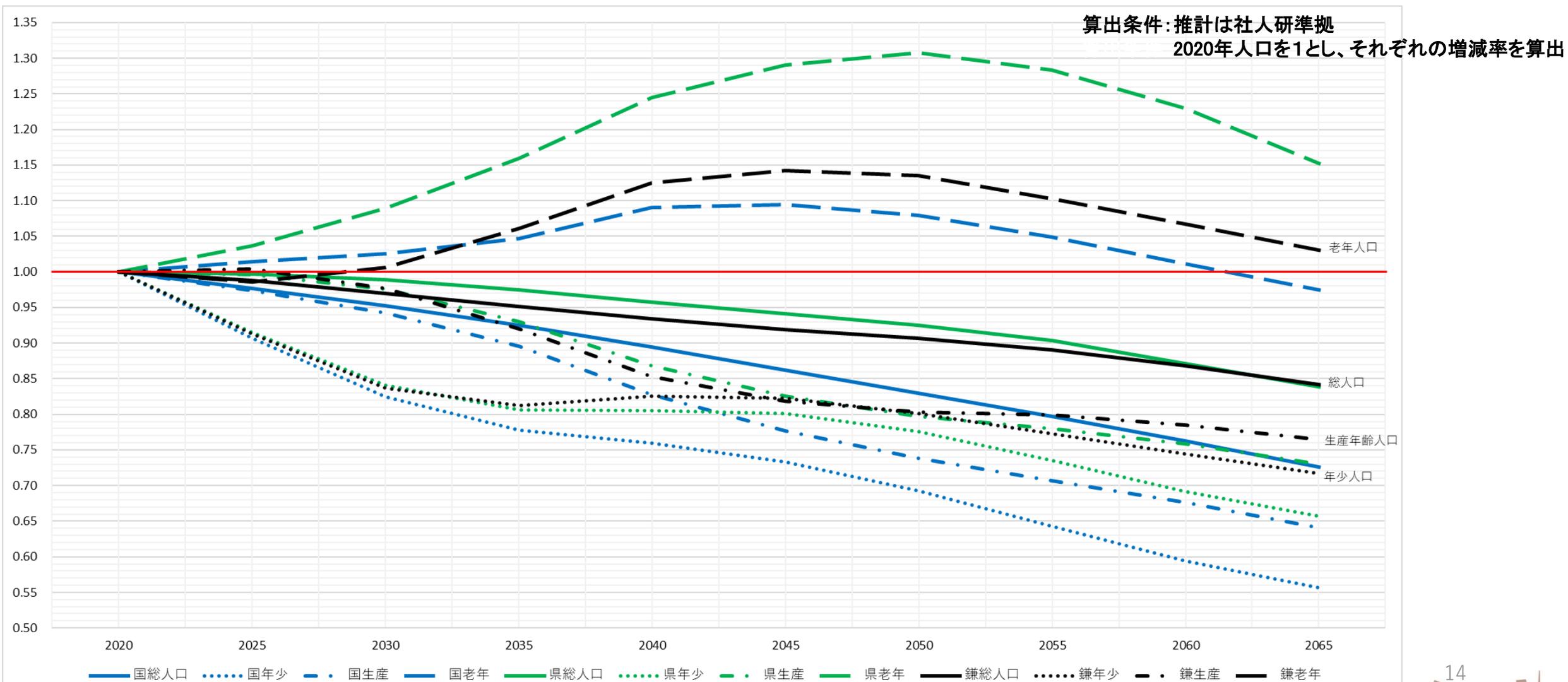
2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
172,710人	169,536人	165,331人	161,108人	157,114人	153,585人	150,412人	146,770人	142,155人	136,907人



再推計により、最終年（2065年）に1～2万人程度の減少が生じる可能性あり



○ (参考) 国・県・鎌倉市人口推計トレンド比較





○ 人口の基本方針案

今後、深沢地域において、大規模な住宅供給を伴う開発等事業が行われる予定であり、当該事業による社会増により、一定の人口減を抑えることができます。

そこで、自然増減及び社会増減の将来見通し並びに深沢地域で予定されている開発等事業により見込まれる人口増から算出される人口の実現を目指し、人口の基本方針を以下の通りとします。

- ① 総人口の大幅な減少の回避に向け、人口流出をできる限り抑制し、交流人口から関係人口、更には定住人口の確保（社会増の確保）を目指し、これまでの本市における人口減の抑制につながった施策を継続するとともに、本市の魅力の洗練と発信に取り組みます。
- ② 将来的な持続可能性の確保に向け、自然減の抑制を目指します。
 - (1) 長寿社会に対応した地域による支援システムの整備、健康寿命の延伸に努めます。
 - (2) 出生数の増加に向けた出産・子育ての希望に対する障壁の取り除きに努めます。